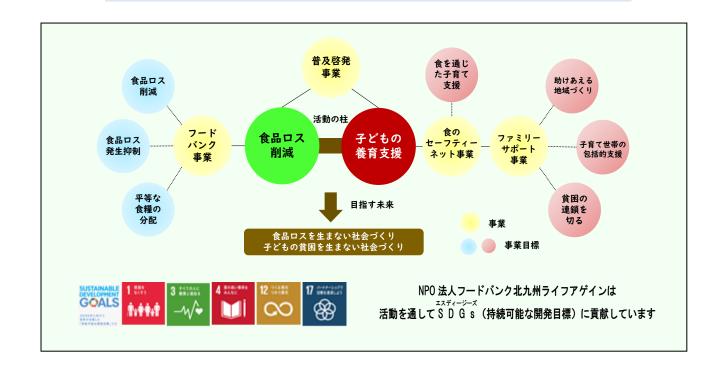
# ライフアゲイン **2070 307**



# 2020 年次活動報告



# ライフアゲインの取り組みと目指す未来



# フードバンク事業

#### 「もったいない」を「ありがとう」へ

「まだ食べられる食品を活用した食料支援」 食品ロスと食品を必要とする方々をつなぐフードバンク活動を「命の大切さと思いやりを取り戻す」事業として取り組んでいます。昨年度より、食品取扱量は 1.8 倍、子育て世帯支援総数は 1.6 倍、緊急食料支援件数は 2.1 倍と増加しました。福岡県フードバンク協議会、福岡県内のフードバンクや、各自治体と連携し必要とされる活動を行いました。

- フードバンクの存在が知られさまざまな企業、組織から防災用非常食の入れ替え時に寄贈が増えました。
- コロナ禍による寄贈が増えました。休校で学校給食が 停止したことで、学校給食協会から寄贈がありました。 旅行業者からのお土産品の寄贈も多くありました。
- 家庭から発生する食品ロスを提供してもらうフードドライブは、広報の機会としても大きな役割を果たしています。市内一斉フードドライブ(市民センター、エフコープ、西南女学院大学などで実施)は年2回、イオン3店舗、アルクでは毎月開催されました。

2020年度実績		
食品取扱量	90. 5 トン	
食品提供企業数	158社・団体	
食品受け取り施設	121 箇所	
子育世帯食料支援数	91 世帯	
子育世帯支援総数	218 世帯	
緊急食料支援件数	64 世帯	

- SDGsの取り組みとして、さまざまな企業に自主的なフードドライブが広がっています。
- エフコープ環境助成金により「フードドライブハンドブック」を作成、自主的なフードドライブの実施を呼びかけ、必要な用具の無料貸し出しができるようになりました。活動の広がりが期待できます。

#### さまざまな企業・組織との連携が強まりました

(敬称略)

- イオン九州株式会社……「幸せの黄色い レシートキャンペーン」の寄付活動、毎月 の店舗でのフードドライブ実施など、さ まざまな連携が強まりました。
- 株式会社サンキュードラッグ……ライフ アゲインの毎月の食品配布の受取り、ま た、「夏休みお腹いっぱい大作戦」の受取 りを店舗で引き受けていただきました。 各店舗にはリーフレットと募金箱が設置 されており、社員の方々も含めて募金に 取り組んでいただいています。
- エフコープ生活協同組合……各店舗でのフードドライブ実施、寄付つき自販機の設置、フードバンクの食品をエフコープの支所倉庫に置かせてもらうなど、さまざまな支援を受けています。また、福岡県フードバンク協議会の事務局を担っていただくなど、福岡県のフードバンクとの協働が進んでいます。
- 株式会社大英産業……倉庫の無償提供を 受けています。もがるかキッチンや事務 所の改装はじめ寄付つき自販機設置、古 本による寄付の取り組みにも積極的に参 加していただいています。
- 第一生命保険株式会社……寄付つき自販機の設置、古本による寄付の取り組み、フードドライブなどに取り組んでいただいています。また、社内研修で、原田理事長の講演を企画していただきました。





イオン九州株式会社 経営戦略本部 九州エリア政策推進担当

/EON

川浪 武志

フードバンク北九州ライフアゲイン様とは、2019 年 4 月 からフードドライブ活動を通じてお付き合いをさせていただき、今年で3年目でございます。当時、ライフアゲイン様・福 岡県様との連携をはかり、フードドライブのスタートにあたりましては、弊社初めての取り組みで大変お世話になりました。

お蔭様で今年7月からは、福岡エリアでもフードドライブを始めることができました。北九州市のフードドライブ活動を経験して、ライフアゲイン・原田様からもご尽力をいただき、福岡エリアでも活動ができるようになり深く感謝をいたしております。

北九州エリアのフードドライブでは、昨年 1 年間で地域の方々より 1.068kg(3,263 個)の食料品のご寄付が集まり、ライフアゲイン様を通じて福祉施設や子ども食堂などにご提供されました。これからも食品ロス削減や SDGs の取り組みの一環としましてフードドライブ活動をフードバンク団体様と協働で行っていきたいと考えております。またフードドライブ活動が一人でも多くの地域の方々へ知っていただけるよう、弊社の店舗からもしっかり発信をさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

- 久原本家……定期的に食品の提供や寄付をいただいています。ライフアゲインのボランティアやスタッフも参加した「歌リレープロジェクト」では、視聴回数に応じた寄付をいただきました。
- 一般社団法人福岡県フードバンク協議会……食品寄贈 企業へ向けての窓口、企業などからの寄付受付窓口などと して、県内のフードバンクを支えてもらっています。

# ファミリーサポート事業

#### 子ども食堂からの広がり

「すべての子どもたちが大切とされる社会」を実現するために、子どもの貧困、負の連鎖を断ち切る包括的 支援ネットワークの実現を、ライフアゲインがリードしていきます。新型コロナウイルスの影響で、集まって 食べたり、触れ合うことが難しい今だからこそ、つながりづくりを実現し、子ども食堂の普及と体験を重視し た校外学習、学習支援事業などを行いました。

#### 子ども食堂



全国子ども食堂支援センター「むすびえ」、子ども食堂ネットワーク北九州から情報提供や食材提供、寄付を受けて連携した活動を行っています。これからも地域の拠点としての「子ども食堂」が各校区に1ヵ所設立し 運営されるように、「子ども食堂市内普及プロジェクト」として進めていきます。

#### 尾倉っ子ホーム

皿倉小学校区を北九州の子ども食堂モデル地域として運営しています。月2回の開催でしたが、コロナによる緊急事態宣言が出され、会場が使えず、開催できない状況が続きました。今までの活動を食料配布やお弁当配布に内容を変更して子育て支援を続けました。



#### もがるかホーム

もがるかホームは、もがるかキッチンと合わせて、 休止しています。2021 年度は、

形を変えて中央町商店街の 子ども食堂として再スタート の準備をしています。

これからも子供たちの成 長を見守りながら子ども 食堂のお手伝いをしてい きたいです。



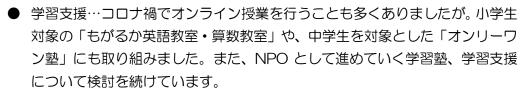






- コロナウイルス対策としてむすびえ助成金を利用して、飛沫防止シ ールドを有薗製作所と協働して作成しました。 組み立て式で持ち運びも簡単です。子ども食堂や学習塾開催時に活用し、子どもたちが安心して活動できました。
- もがるかキッチンは事業を解消し、新たに放課後デイサー

ビス事業所「プレシャスONE」 へと移行しました。運営は一般財団法人ライフアゲインが行うことになりました。これからも連携していきます。





#### もがるかキッズクラブ

開かれた子ども会活動として自然体験や仕事体験などの校外活動を行い、延べ参加人数は 150 名となりまし た。元気な笑顔いっぱいの楽しい活動が広がり、未知の体験を通してたくさんの感動がありました。年間を通し て、活動の場を提供してくださった農家さんに感謝です。



# フードパントリー

コロナ対策緊急食料支援として、ライフアゲインの LINE 公式アカウントへの登録者に食料配布を行い、ド ライブスルー形式の配布にも取り組みました。長期休み対策として、「夏休み・冬休みおなかいっぱい大作戦」 として、延べ 620 世帯に食品を配布しました。また、尾倉小学校区、今町小学校区や北九州市立大学などで もフードパントリーを行いました。





「冬休みお腹いっぱい大作戦」… トラック一杯積み込みました!!





# 食のセーフティーネット事業

#### 「食べものの命」は「人の命」

前例がないほど多くの子育て世帯が苦境に立たされています。命をつなぐネットワークなどと連携して 子育て世帯への安定的、継続的な食料支援を行っています。食料支援が終了した世帯に対して、傾聴、情 報提供などを続けています。見えにくい貧困が広がる中、私たちは支援を必要とする人に支援が届くよう にと日々取り組んでいます。ライフアゲインが目指している包括的支援へつないでいきます。

● つながり支援チーム 食料支援が必要な方に食品をお渡しするサポートや気軽に顔の 見えるつながりを作るためのボランティアを募集しました。要 支援者対応のための携帯電話を貸与し、スピードを持った取り 組みがすすみました。



● WAM 助成事業として、ライフアゲイン LINE 公式アカウントを開設し、約480名の方が登録されました。支援が必要とされているにも関わらず、これまで支援が届いていない方々へ新たにつながることができました。初めてフードバンクの取り組みを知ったという方もおられました。食料配布だけでなく、子育て世代への情報提供も行っています。

#### LINE 登録者へのアンケートから

・役に立った情報、今後ほしい情報は何ですか? 食料支援情報、行政からの子育てや家計を応援する情報やおしらせ



・希望する支援は何ですか? 子どもたちに好きなものを買ってあげられないのでお菓子がありがたい お米の支援はうれしい(お米については多くの声が寄せられました) お米やパンやパスタなどの主食、赤ちゃんや幼児用の食品、学校で使う鉛筆やノートなど

- 北九州市子ども家庭局(各区役所の「子ども家庭相談コーナー」)との連携、保健福祉局(各区役所の生活困窮者相談「いのちをつなぐネットワーク」)との連携を強化し、支援活動を広げました。
- 寄贈品、取扱量増加に対応するため、赤い羽根助成金を活用してプレハブ型冷凍庫の設置や小分け用の密封機などを購入しました。常温・冷蔵・冷凍の多様な温度帯の食品管理ができるようになりました。また、保管用の倉庫を増やしました。多量の受入れができるようになりましたが、管理が難しくなりました。
- 今後も食品管理については品質向上を目指し、検討していく必要があります。



お米などを小分けし密封する機械



プレハブ型冷凍庫



《ボランティアさんの声》 プレハブ型の冷凍庫は容量 も大きく、冷凍品の受入れ量 も増えました。中が見やすく なり、在庫の確認もしやすく なりました。フードパントリ ーなどでも冷凍食品を渡せ るようになり、よかったで す。次は大きな冷蔵庫がある といいかな。(^\_-)-☆

# 普及・啓発事業

#### 知ることからつながり、広げる

より多くの方に活動内容を知ってもらい、子供の貧困や食品ロスの問題を理解し、すべての子どもたちが大切にされる社会を実現するために行動しています。SGDsの取組みは企業にも大変関心を持たれています。

#### 2020 子育てシンポジウムの開催

● 10月31日「かけがいのないこのいのちをまっすぐに」〜幼少期の安定した養育環境を社会全体でつくろう〜と題して開催。福岡県子育てアドバイザーの内田美智子さん、少年育成指導官の堀井智帆さん、原田理事長のお話を聞き、会場からは質問や意見も出され、約80人の参加者との共感が深まりました。



SOS をもっと気軽に出せて、地域がみんな家族のような古き良き時代のような…病院の数だけで数字だけで「子育てしやすい町」ではなく、本物の「子育てしやすい北九州」になるといいなと感じています。

(アンケートの声より)

#### ホームページや SNS、活動紹介のチラシ作成、さまざまな冊子を発行して情報発信







#### YouTube によるパートナー説明会、Google、LINE を活用したアンケート、意見交換

● コロナ禍のために集まることが難しい情勢ですが、SNS を使った説明会、情報提供、意見交換など、工夫してきました。スタディツアーの内容を紹介する DVD も作成しました(WAM 助成事業)。貸し出しもできますので、関心をお持ちの方は事務局にご連絡ください。

#### 認定 NPO 法人になりました!

- 多くの市民に支持されて公共性が高く、適正な管理をしている NPO 法人として認定されました(10月申請、3月認定)。認定 NPO 法人として、これまで以上に地域から信頼を寄せられる団体となり、ミッションを果たしていきます。
- 認定 NPO 法人への寄付は、税制優遇の対象となります。詳しくは、税務署にお問合せ下さい。



認定申請書の提出



認定通知書交付式

#### ビジョン / 私たちが実現したい社会

私たちは『すべての子どもたちが大切』とされる社会の実現をめざしています。

#### ミッション / そのために私たちが果たす役割

生まれ育った環境のために 満たされた食事ができない 十分な教育を受けられない 寂しい思いをしている子どもを 北九州市からゼロにする



2020年度はコロナ禍の中、日々食料支 援の要請に追われ、毎月の食料支援が必 要な子育て世帯は100世帯、LINE に登録 された子育て世帯は500世帯を超えまし た。そして、多くの皆様よりご寄付をいただ

理事長 原田昌樹 き、また、各種助成金を受けたことにより、

2020年度決算は当期経常増額1,232万円、前期繰越金577万 円と合わせると次期繰越金は1,798万円となりました。この数字 は、緊急時においてライフアゲインに大きな期待が寄せられて いるものと実感しています。

私たちは、皆様から期待されている活動を持続可能なものに するためにこの資金を活かして、組織基盤強化として事務局を 盤石なものにしようと考えています。事務局体制を強化し、コロ ナ禍などで支援要請が急増しても、しっかり対応できるようにし ていきたいと考えてます。今後、食料支援から包括的支援へ繋 いでいこうとしていますが、職員が不足しては実現できません。 5年先、10年先を見つめながら、会員の皆様、ボランティアの皆 様とも未来を共有し、着実な歩みを進めたいと考えています。

今後、子どもたちに寄り添った支援が継続できるよう、また、 緊急的な支援対応もできるような資金の確保も含めて、ライフア ゲインを応援してくださる皆様には、できれば《毎月の寄付:マ ンスリーサポーター》や《毎年の寄付:年間サポーター》にな って活動を支えていただければ嬉しく思います。昨年度末には 認定 NPO 法人となりましたので、ライフアゲインへのご寄付は税 制優遇の対象となります。ぜひ、この制度をご活用下さい。

私たちは皆様と共に「すべての子どもたちが大切とされる社 会」を実現してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

#### 2020年度 活動計算書

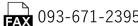
科目		2020年度	2019年度
受取会費		871,000	87,500
受取り寄付金		18,042,096	4,819,819
受取り助成金等		15,109,000	2,430,000
事業収益		3,330,284	4,359,220
その他収益		84,531	82,719
経常収益 計		37,436,911	12,566,758
事業費	人件費	3,985,762	1,948,230
	業務委託費	1,705,850	1,102,380
	諸湖金	2,847,059	451,414
	印刷製本費	1,327,922	288,155
	旅費交通費	255,200	348,403
	車両費	181,395	279,166
	通信運搬費	353,204	109,646
	消耗品費	2,280,253	533,638
	水道光熱費	733,822	519,316
	食材費	1,033,871	388,492
	地代家賃・賃借料	2,013,993	1,620,000
	減価償却費	797,030	747,744
	その他費用	452,513	484,805
	事業費 計	17,967,874	8,821,389
管理费	人件費	3,189,231	1,951,479
	業務委託費	1,297,097	263,800
	印刷製本費	118,950	56,722
	旅費交通費	79,847	177,190
	通信運搬費	586,201	216,009
	消耗品費	324,204	107,791
	水道光熱費	20,574	139,071
	地代家賃・賃借料	509,792	418,800
	保険料	187,925	228,250
	支払手数料	346,000	203,301
	その他費用	487,635	387,925
	管理費 計	7,147,456	4,150,338
経常費用 計		25,115,330	12,971,727
当期経常増減額		12,321,581	-404,969
経常外費用		0	0
税引前当期正味財産増減額		12,321,581	-404,969
法人税、住民税及び事業税		113,100	
当期正味財産増減額		12,208,481	-404,969
前期繰越賞味財産額		5,769,372	6,174,341
次期繰越証明財産	額	17,977,853	5,769,372



# 認定 NPO 法人フードバンク北九州**ライフアゲイン**

〒805-0019 福岡県北九州市八幡東区中央 2 丁目 14-17

●お問合せ

















●受付時間 月・水・金 10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日休み)